

第12回（令和3（2020）年度）日本学術振興会育志賞 学内応募要領

1. 賞の概要

本学からの推薦可能数は、人社系、理工系、生物系各1名、その他に分野を問わず1名の計4名です。（全体の受賞者数は16名程度）

受賞者には、賞状、賞牌及び副賞として学業奨励金110万円が贈呈されます。

また、受賞者は、希望により翌年度から特別研究員等に採用されます。その場合、研究奨励金等が支給されます。

詳細は次頁以降の「日本学術振興会育志賞推薦要項」等及び日本学術振興会育志賞HP (<https://www.jsps.go.jp/j-ikushi-prize/index.html>) をご覧ください。

2. 対象者

令和3（2021）年4月1日現在34歳未満であり、令和3（2021）年5月1日において大学院博士後期課程に在学している学業成績優秀者（留学生も応募可能）（休学中の学生は応募不可）。

3. 提出書類

- (1) 「推薦書」（様式2） …紙媒体1部 及び 電子データ（学生が作成）
- (2) 「推薦理由書A」（様式3-1） …紙媒体1部（申請者の指導教員の推薦書）
- (3) 「推薦理由書B」（様式3-2） …紙媒体1部（申請者の研究を理解している研究者の推薦書）
- (4) 「研究の概要等」（様式4） …紙媒体1部 及び 電子データ（学生が作成）

※様式のWord様式は日本学術振興会育志賞HPよりダウンロードください。

※「推薦書」（様式2）の「①系別」、「②専門分野」、「推薦機関」、「⑩推薦理由」欄は記載不要です。

※本学以外（学術団体等）からの推薦を受けている場合は、申請書提出の際その旨申し出てください。

4. 学内提出期限 及び 提出方法

・提出期限 **令和3年5月6日（木）17時必着**

・提出方法 学生が下記提出先へ書類を提出してください。

提出先：学生支援・社会連携課 経済支援係（3号館1階）

電子媒体の提出先 shogaku@jim.kit.ac.jp

（メール件名を「【育志賞申請】〇〇専攻_氏名」としてください。）

<本件事務担当・書類提出先>

〒606-8585

京都市左京区松ヶ崎橋上町1番地

京都工芸繊維大学 学生支援・社会連携課 経済支援係

TEL:075-724-7150 メール: shogaku@jim.kit.ac.jp



第12回（令和3（2021）年度）「日本学術振興会 育志賞」受賞候補者推薦要項

1. 趣旨

日本学術振興会（以下「本会」という。）は、上皇陛下の天皇御即位20年に当たり、社会的に厳しい経済環境の中で、勉学や研究に励んでいる若手研究者を支援・奨励するための事業の資として、平成21年に上皇陛下から御下賜金を賜りました。

このような陛下のお気持ちを受けて、本会では、将来、我が国の学術研究の発展に寄与することが期待される優秀な大学院博士課程学生を顕彰することで、その勉学及び研究意欲を高め、若手研究者の養成を図ることを目的として、平成22年度に「日本学術振興会 育志賞」（以下「育志賞」という。）を創設しました。

2. 対象分野

人文学、社会科学及び自然科学にわたる全分野

3. 授賞

授賞数は16名程度とし、受賞者には、賞状、賞牌及び副賞として学業奨励金110万円を贈呈します。

4. 対象者

以下の①②の条件を満たす者を対象とします。

なお、推薦に当たっては、論文等の業績のみにとらわれず、将来、我が国の学術研究の発展に寄与することが期待される優秀な者、経済的に困難な状況や研究施設が必ずしも十分ではない等の厳しい研究環境の下でも創意工夫を凝らして主体的に研究を進めている者など多様な観点から推薦願います。

- ① 我が国の大学院博士課程学生（海外からの留学生を含む）であって、令和3（2021）年4月1日において34歳未満の者で、令和3（2021）年5月1日において次の1）から4）のいずれかに該当する者
 - 1）区分制の博士後期課程に在学する者
 - 2）一貫制の博士課程3年次以上の年次に在学する者
 - 3）後期3年のみの博士課程に在学する者
 - 4）医学、歯学、薬学又は獣医学系の4年制博士課程に在学する者
- ② 大学院における学業成績が優秀であり、豊かな人間性を備え、意欲的かつ主体的に勉学及び研究活動に取り組んでいる者

5. 推薦権者

1) 我が国の大学の長（大学長推薦）

推薦数：人社系、理工系、生物系各1名、その他に分野を問わず1名の計4名まで

2) 我が国の学術団体（日本学術会議協力学術研究団体に限る）の長（学会長推薦）

推薦数：1名まで

※自薦・個人推薦は受け付けません。

6. 応募方法 → 別紙の学内応募要領を参照してください。

電子申請システムにより推薦を受け付けます。~~（紙媒体での応募は受け付けません。）~~

書類の作成にあたっては、本会のウェブサイトに掲載している「提出書類の記入要領」及び「Q&A」を参照してください。

様式1、様式2（1ページ目）は電子申請システムでダウンロードしたものを使用してください。それ以外の様式等は、本事業のウェブサイト（<https://www.jspss.go.jp/j-ikushi-prize/index.html>）よりダウンロードしてください。

電子申請システムの利用にあたっては、電子申請システム用ID及びパスワードが必要となります。~~（電子申請システムは、令和3（2021）年4月22日（木）から使用可能です。）~~

電子申請システム用のID、パスワードは、大学及び学術団体の事務局宛に紙媒体にて郵送します。~~（3月中旬発送予定。）~~4月上旬になっても受領できない場合は、令和3（2021）年5月13日（木）までにご連絡ください。

電子申請システムURL

<https://area18.smp.ne.jp/area/p/1dtj9lapdt9mflik0/5HmrFe/login.html>

書類	電子申請
①「受賞候補者推薦名簿」（様式1）	電子申請システムでダウンロードしたものをアップロード
②「推薦書」（様式2）（1ページ目）	②～⑤の順番でPDF結合させた上、1つのデータとしてアップロード
③「推薦書」（様式2）（2ページ、3ページ目）	
④「推薦理由書A、B」（様式3）※	
⑤「研究の概要等」（様式4）	

※：④は、推薦者以外に、研究指導者及び候補者の研究を理解している研究者の2名から、それぞれ作成いただくものです。

7. 受付期間 学内期限：令和3年5月6日（木）17:00

令和3（2021）年5月27日（木）～6月1日（火）17:00（締切）

※電子申請システムは、令和3年4月22日（木）から使用可能です。

※電子申請システム上での「電子申請」は、6月1日（火）17:00までに完了願います。完了期限後は電子申請システムにログインできなくなります。

8. 選考方法

推薦のあった候補者について、書類選考により面接選考対象者を決定し、面接選考（11月頃）を経て、日本学術振興会に設置する選考委員会において、受賞者を決定します。

9. 選考基準

学業成績が優秀で、豊かな人間性を備え、意欲的かつ主体的に勉学及び研究活動に取り組んでいること。選考に当たっては、本賞の趣旨に鑑み、次の①から③を重視します。

- ① 我が国の学術研究の将来を担う研究者となりうる卓越した能力を有しており、将来学界等への貢献が期待されること
- ② 将来、更なる研究の発展が見込まれ、卓越した研究者に成長していく可能性を有していること
- ③ 経済的に困難な状況や、研究施設が必ずしも十分ではない等の厳しい研究環境の下でも創意工夫を凝らして、主体的に研究を進めていること

<上記に該当する者の例>

- 発想・着想、課題設定などにおいて、創造性・独創性が高い研究に主体的に取り組んでいる者
- 当該学問領域や学際領域における重要な基盤となる研究に主体的に取り組んでいる者
- 研究活動に関連する、ユニークな活動に主体的に取り組んでいる者
- 短期的には論文等の成果が出にくい研究に対して、忍耐強く取り組んでいる者

10. 選考結果の通知

選考結果は、令和4(2022)年1月末頃、推薦者に通知する予定です。

11. 授賞式

令和4(2022)年2月～3月頃に行う予定です。詳細については、選考結果とともに受賞者に通知します。なお、受賞者の授賞式に出席する旅費は本会が負担します。

12. 受賞後の取扱い

受賞者は、希望により、所定の申請手続きを経た場合、受賞の翌年度から日本学術振興会特別研究員等に採用され、研究奨励金等が支給されます。採用は、翌年度の4月1日の在学年次、学位の取得状況等に応じた採用区分の特別研究員又は外国人特別研究員となります。

既に特別研究員・DCとして採用されている受賞者についても、希望により前記と同様の扱いを受けることが可能です。なお、特別研究員・PDとして採用内定されている受賞者は、育志賞受賞者としての特別研究員・PD採用の対象とはなりません。詳細については、受賞者に対して別途お知らせします。

特別研究員又は外国人特別研究員への採用に当たっては、原則として他のフェローシップ、研究費の助成等を受給することはできません。また、定められた規則等を遵守していただきます。詳細は、当該事業募集要項・採用後の諸手続きの手引き等をご確認ください。

特別研究員：<https://www.jsps.go.jp/j-pd/index.html>

外国人特別研究員：<https://www.jsps.go.jp/j-fellow/index.html>

13. 個人情報の取扱いについて

下記の個人情報の取扱いについて、候補者の同意を得てください。

推薦書等提出書類に含まれる個人情報については、「独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律」及び本会の「保有個人情報等保護規程」に基づき厳重に管理し、本会の業務遂行のみに利用（データの電算処理及び管理を外部の民間企業等に委託して行わせるための個人情報の提供を含む。）します。

なお、授賞対象となった場合、受賞者の氏名、年齢、性別、国籍、所属機関、推薦機関、博士課程の研究テーマ、顔写真等が公表されます。

14. その他

- 1) 推薦書（様式2）の「推薦理由」欄は、推薦機関（大学又は学術団体）における候補者の活動状況を踏まえ、推薦者（大学長又は学会長）の立場から独自の観点で記載してください。
- 2) 推薦書等の提出（送信）後、その記載事項を変更し、又は補充することは認められません。
- 3) 提出された推薦書等は返却しません。
- 4) 選考結果に対する問い合わせには応じかねます。
- 5) 受賞者としてふさわしくない行為又は推薦書類に重大な虚偽が発覚した場合は、授賞後であっても授賞を取り消すことがあります。
- 6) 受賞者には、我が国の学術の振興、本会の事業の充実等のため、協力を依頼することがありますので、あらかじめ承知願います。
- 7) 受賞者には、受賞者間のネットワーク構築を図るため、過去の育志賞受賞者を対象とした育志賞研究発表会への参加を依頼します。

15. 問い合わせ先

〒102-0083 東京都千代田区麴町5-3-1

独立行政法人 日本学術振興会

人材育成事業部 研究者養成課 「日本学術振興会 育志賞」担当

TEL : 03-3263-0912 Email : ikushi-prize@jsps.go.jp

本事業ウェブサイトURL

<https://www.jsps.go.jp/j-ikushi-prize/index.html>

参考

I 第11回(令和2(2020)年度)日本学術振興会 育志賞について

1. 推薦状況

第11回(令和2(2020)年度)		
学長推薦	学会長推薦	計※
112名(122名)	63名(62名)	165名(175名)

()内は、前回の人数

※ 合計数は、重複推薦を1名として計上

2. 日程

推薦依頼	令和2(2020)年3月17日
推薦書受付	令和2(2020)年7月2日～8日
予備選考 (学術システム研究センター)	令和2(2020)年7月～12月
選考委員会	令和3(2021)年1月7日
受賞者決定報道発表	令和3(2021)年1月28日
授賞式	※新型コロナウイルスの影響により 開催取り止め。

II 過去の受賞人数

受賞回(受賞年度)	受賞者数
第11回(令和2年度)	18名
第10回(令和元年度)	18名
第9回(平成30年度)	18名
第8回(平成29年度)	18名
第7回(平成28年度)	17名
第6回(平成27年度)	18名
第5回(平成26年度)	18名
第4回(平成25年度)	18名
第3回(平成24年度)	16名
第2回(平成23年度)	17名
第1回(平成22年度)	17名

第12回（令和3(2021)年度）日本学術振興会 育志賞 提出書類（様式1～4）の記入要領

【共通事項】

- ・日本語で記入してください。様式2-①及び様式3、様式4は英語での記入も可能です。
- ・カラー可。
- ・様式は加工しないでください。頁の追加・削除等はできません。
- ・本会が指定した書類以外のものを添付することはできません。また、新たに用紙を加えることもできません。
- ・推薦にあたっては、令和3(2021)年4月22日に公開予定の「第12回（令和3(2021)年度）育志賞 電子申請システム入力マニュアル」及び「Q&A」（https://www.jsps.go.jp/j-ikushi-prize/ikushi_qa.html）を必ず参照してください。
- ・電子申請システム上、日本語・英語（アルファベット）以外の言語や特殊文字は、入力できません。氏名・固有名詞等、特殊文字等が含まれる場合は、カタカナまたはアルファベットで入力した上で、正しい文字を事務局宛にメールでご連絡ください。

-【様式1記入方法】

1. ~~「機関長名」~~

~~電子申請システム上の機関情報入力において、該当項目に入力された情報が様式1に反映されます。なお、「推薦機関名」は、ログインIDに基づき、自動的に表示されます。~~

2. ~~「戸籍名」~~

~~電子申請システム該当項目に候補者の戸籍名を記入してください。（姓と名の間を1文字分あけてください。）また、本項目以外の候補者氏名記入欄に関しては、様式2③氏名と一致させたものを記入してください。（下記【様式2記入方法】の「2. ③氏名」を参照してください。）~~

3. ~~「推薦書に関する連絡担当者・連絡先」~~

~~電子申請システム上の機関情報入力において、該当項目に入力された情報が様式1に反映されます。~~

~~なお、受賞候補者本人が連絡担当者（事務担当者）となることはできません。大学又は学協会の事務担当者等としてください。~~

【様式2記入方法】

1. ~~「①系別」~~

~~候補者の所属研究科等にかかわらず、研究内容に最も合致すると思われる系を1つ選択してください。（大学長推薦において、3系各1名の枠の他に分野を問わないもう1名を推薦する場合は、「4. 分野を問わないもの」を選択してください。）~~

2. 「②専門分野」

候補者が現在専門としている分野を簡潔に記入してください。

3. 「③氏名」

候補者の氏名を記入してください。研究上、通称名（旧姓等）を使用している場合は、それを用いることができます。

氏名は漢字等により記入し、ローマ字表記及びフリガナを併記してください。姓と名の間を1文字分空け、ローマ字表記の姓は全て大文字としてください。

記入例：ローマ字 GAKUSHIN Hanako
カタカナ ガクシン ハナコ
氏 名 学振 花子

外国人の場合も姓・名の順で記入し、姓は全て大文字としてください。漢字で記入できない場合は、姓名はカタカナで、ミドルネームはイニシャル（アルファベット）のみを記入してください。

記入例：ローマ字 NEWTON S. Isaac
カタカナ ニュートン S. アイザック
氏 名 ニュートン S. アイザック

4. 「④性別」

該当する性別を選択してください。

5. 「⑤国籍」

該当するものを記入してください。デフォルトで日本と表示するように設定されていますので、外国籍の場合は修正してください。

6. 「⑥生年月日」

西暦で記入してください。また、月日は選択してください。年齢は自動計算により表示されます。

7. 「⑦学歴」

学部の卒業年月及び修士課程（博士前期課程を含みます。）の修了年月を記入してください。また、所属研究科及び専攻も記入してください。

8. 「⑧博士の状況」

令和3（2021）年5月1日現在に所属する大学院博士（後期）課程に係る内容を記入してください。複数の博士（後期）課程に在学したことがある場合や、学位を取得している場合は、今回の推薦に係るものを記入し、「博士に係る学歴の特記事項」欄に「有」と記入した上で、「博士の追記事項」欄に、他の在学した博士課程の状況や学位取得状況について記入してください。

（1）入学年月

- ・博士（後期）課程に入学又は編入学した年月を記入してください。
- ・5年制大学院に在学の場合は、博士（後期）課程入学に該当する進学年月を記入の上、「進学」としてください。

- ・「3年次編入学」の場合は、その年月を記入の上、「編入学」としてください。
※ここでの「3年次編入学」は、修士課程修了者が5年一貫制博士課程の3年次に編入学することを指します。それ以外の変則的な編入学に該当する場合には、「博士に係る学歴の特記事項」欄に「有」と記入し、「博士の追記事項」欄に具体的に記入してください。

(2) 大学院名

- ・所属の大学院名を記入してください。

(3) 研究科名

- ・所属の研究科名を記入してください。

(4) 専攻名

- ・所属の専攻名を記入してください。

(5) 課程種別

- ・次のいずれかを選択してください。

「博士課程（3年制）」…区分制博士課程の後期課程、後期課程のみの博士課程

「博士課程（5年一貫制）」…5年一貫制博士課程

「博士課程（医・歯・薬・獣医学系4年制）」…博士(医学)、博士(歯学)、博士(獣医学)、博士(薬学)等を授与する4年制の博士課程

なお、専門職学位課程は、博士課程には含まれません。

(6) 休学期間合計

- ・休学期間がある場合、休学期間の合計を記入してください。なお、修士課程（博士前期課程含む）在学中の休学分は算入しないでください。

(7) 2021年5月時点における在学年次

- ・博士（後期）課程入学時点から起算した在学年次を選択してください。

(8) 博士に係る学歴の特記事項（任意）

- ・博士について下記のような特記事項がある場合は、この欄に「有」と記入した上で、「博士の追記事項」欄に具体的に記入してください。特記事項がない場合、入力は不要です。

特記事項の例：転入学・再入学・短縮修了・長期履修・複数の博士取得 等

(9) 博士の追記事項

- ・「博士に係る学歴の特記事項」欄に「有」と記入した上で、詳細を本欄に具体的に記入してください。

9. 「㊟研究・職歴等」

現在までに職歴等がある候補者は、その旨記入してください。日本学術振興会特別研究員等各種フェローシップの採用歴もこの欄に記入してください。

例) 2020年4月～2022年3月 日本学術振興会特別研究員-DC2

10. 「㊟博士課程の研究テーマ（和文・英訳）」

博士（後期）課程の研究テーマについて、上段に和文（全角128字以内。記号、数字等もすべて1字として数えます。）、下段にその英訳（半角256字以内）を記入してください。化学記号、略号はできる限り避けてください。

—1-1—「推薦機関」、「機関長名」

電子申請システム上の機関情報入力において、該当項目に入力された情報が様式2に反映されます。また、「推薦機関名」は、ログインIDに基づき、自動的に表示されます。

「機関長名」への署名又は職印の押印は不要です。ただし、推薦機関の規程等により押印が必要とされる場合は、押印を妨げません。

なお、推薦者は原則として推薦理由書作成者を兼ねることはできません。

1 2. 「推薦理由書作成者」

候補者の研究業績及び推薦書の妥当性に関し、様式3-①及び3-②を作成する者です（2名必要です）。様式3-①については所属研究科の担当指導教員とし、様式3-②については候補者の研究をよく理解している研究者とします。

なお、推薦理由書作成者は、推薦者又は候補者と同一人物であってはなりません。ただし、推薦者が所属研究科の担当指導教員である場合には、様式3-①のみ作成が可能です。

1 3. 「①推薦理由」

~~研究内容のみならず研究に関連する多様な視点を含めて、候補者を推薦する理由を、推薦機関（大学又は学術団体）における候補者の活動状況を踏まえ、推薦者（大学長又は学会長）の立場から独自の観点で、記載してください。~~

~~字数の制限はありませんが、様式に収まるよう記入してください。なお、専門用語の使用は極力避け、専門外の者でも理解しやすい内容となるような記述が望ましいです。~~

1 4. 「【候補者氏名】」

各ページの「【候補者氏名】」欄に、「③氏名」に記入した候補者の氏名を記入してください。

【様式3 記入方法】

1. 推薦理由書作成者

様式2に記載された「推薦理由書作成者A」が様式3-①を、「推薦理由書作成者B」が様式3-②を作成してください。（上記【様式2 記入方法】の「1 2. 推薦理由書作成者」を参照してください。）

2. 「署名」

署名については自署または電子画像による署名としてください。自署の場合、署名された様式をスキャンして提出してください。

なお、推薦理由書作成者が日本語を解さない場合、様式3-①及び様式3-②は、それぞれ英語版のForm 3-1 及びForm 3-2 に代えることができます。

3. 「【候補者氏名】」

各ページの「【候補者氏名】」欄に、「③氏名」に記入した候補者の氏名を記入してください。

【様式4 記入方法】

1. 「研究の概要等」

様式内の記載方法を参照してください。なお、様式内にある記載方法に関する記述の枠は削除しないでください。

2. 「【候補者氏名】」

各ページの「【候補者氏名】」欄に、様式2「③氏名」に記入した候補者の氏名を記入してください。